

15年度親子まち探検

秋だ！親子で探訪、六甲山 開催

六甲山は、神戸市民の裏庭として多くの人に楽しみを与えています。

自然豊かなこの山も明治の初めはハゲ山でしたが、水源林整備や砂防を目的に大規模な植林を行ってから100年を経て、現在の緑豊かな山になりました。

また、英国人のA.H.グループ氏によって日本最初のゴルフ倶楽部が開設され多くの外国人の別荘も建てられました。これが、今日の企業や学校の山荘の初めとなりました。しかし、最近では企業の福祉施策の変化などで多くの山荘が閉じられています。

今年の親子まち歩きは、こうした六甲山の現状を考えるきっかけになればと考え企画しました。

■ 楽しい時を過ごした参加者

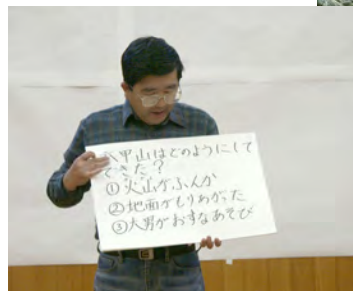
参加者は、最初に六甲山小学校の新崎教頭先生から六甲山や六甲山小学校の話をフリップを使ったクイズ形式で聞き、2～3家族で班を作り、まち歩きに出発しました。

地図を片手に、コマンドに従って、写真を撮ったり、思い出缶の材料を探したりしながら、1時間あまり歩きました。

まち歩き後は、ビューポイントや自然等をテーマにしたポスター作りとコマンドシートの記入などを行いました。

今年は、同時に行われていた「六甲山小学校百選」(なだ百選の各小学校版)作りの六甲山小学校の生徒達との共通コマンドの答え合わせや豊田先生(神戸歴史クラブ)の説明などで交流を行いました。

当日は、天候にも恵まれ楽しく六甲山の自然にふれることができました。



六甲山小学校

六甲山小学校は、小規模校ならではの特色を生かした、市街地の学校とは一味違う教育を行っており、校区外からも児童を受け入れており自然豊かな中で山村留学的な要素の有る学校です。

また、六甲山の活性化にも一役買っています。

六甲山を思う人たち

六甲山には、山の現状を思い、活性化させようとする人達が作ったNPO法人「六甲山と市民のネットワーク」が、山荘の相互利用や空き山荘を利用したホールの運営等を行っています。

また、六甲摩耶観光推進協議会が、山の音楽祭を開催するなどの活動があります。

まちづくり会館ギャラリー企画展「震災復興写真展」 開催 11月10日～24日(水曜日休館)

散歩天国イタリア その1

市民が大挙して行う散歩の習慣がイタリアにあるのをご存じですか。この習慣はまちの目抜き通りを舞台に行われ、市民が繰り出す曜日や時間も決まっています。ここでは、現地で体験したイタリアの散歩習慣を紹介합니다。

◆ナポリ、ローマ通り

ナポリは、地中海に面した人口105万の大都市で、ながぐつを形をしたイタリア半島の「すね」にある。古代ギリシア人が紀元前5世紀に創った植民都市を起源とするこのまちは、大噴火でポンペイを滅ぼしたヴェズーヴィオ火山、ナポリ民謡、洗濯物がはためく下町、おいしいピザなどのほか、スリやかっぱらいでも有名だ。ちなみに、イタリア風に発音すると「ナーポリ」となる。



ナポリ市街とヴェズーヴィオ火山
美しい裾野を遮るジョリー・ホテル

ナポリの散歩習慣はローマ通りで行われる。この通りは、ナポリを支配したスペインのトレド総督が16世紀につくったもので、正式名称はトレド通りだが、みんなローマ通りと呼んでいる。通りに面して建ち並ぶ中層の建物の1階には専門店が入っていて、にぎやかな商店街だ。幅約10m、延長は約1.2km、路面は石で舗装されている。南北に伸びる通りの南半分は歩行者天国だ。

◆ナポリの散歩習慣

散歩を楽しむ人々がローマ通りに集まるのは土曜日の夕暮れ時だ。夕方4時を過ぎると方々から人が集まり始め、日が暮れる頃には大勢の人で通りがあふれ返る。ベビーカーを押す子育て世代のカップル、中高生のグループ、子供連れの夫婦、おじいさん2人組も。老若男女、それぞれのペースでローマ通りを歩いている。軽装で歩きやすい格好をした人が多く、スーツや制服など仕事用の装いは見かけない。みんな、ちょっとおしゃれを意識している感じだ。通りに面したお店に入る人もいるが、特に何を買い求めている様子でもない。純粋に散歩を楽しんでいるようだ。

この習慣の特徴は、同じローマ通りを何回も往復しながら歩くことだ。よく観察すると、同じ人が何度も行ったり来たりしていることに気がつく。腕を組んで歩いている中年のカップルがいた。2度目に見かけたときに、「何往復するんですか」と尋ねると、「好きなだけ」という答えが返ってきた。変わったことが気にな

るんだね、といった態度だったが、同じ通りを何回も往復するという歩き方は日本人には馴染みがない。後でもう一度すれ違ったこのカップルの場合、少なくとも3回は往復していることになる。

その後、往復するために折り返す瞬間を目撃しようと試みたが、これは失敗した。どうやらはっきりとした



ローマ通りに置かれた車止め

折り返し地点があるわけではなく、広場などで足を止めてちょっと話をした後で、もと来た道を戻り始めるといった感じで往復しているようだ。

みんなとても楽しそうだ。一緒に歩いている人とおしゃべりをしたり、お店のショーウィンドーをのぞいたりと退屈している様子はない。また、めいめいのテンポで往復するので、通りに集まった人のほとんどとすれ違うことになるようだ。向こうから知り合いが歩いてくればそこで立ち止まり、おしゃべりが始まる。

人だかりができていたのでのぞきこんでみると、路面に絵を描いている人がいる。興味を持った人は散歩の足を止め、気がすむまで見物している。ほかに、大道芸や手品を披露している人がいて、周りに人垣ができていく。露店やあらかじめ企画されたイベントは見あたらない。散歩はお店が閉まる8時以降も続き、人波は遅くまで絶えない。



まちかどでよく見かける小さな祠

ナポリでは、この習慣を「ストゥルッジョ」と呼ぶことがある。これは、キリスト教の宗教行事である復活祭にちなんだ呼び名だ。この習慣は、人によって、またまちによっても呼び方が異なるようだ。

翌日、日曜日の夕方のローマ通りは、昨日とは違ってかわって閑散としている。商店街の定休日ということもあるが、それにしても人出が少ない。今日はこの通りを歩いても楽しくなさそうだ。昨日見た、市民の約束ごとひとつで作り出されるにぎわいに、あらためて感心させられた。

上村 竜生（都市計画総局地域支援室）

10月8日、「神戸市復興・活性化推進懇話会」（座長 堯天義久 神戸大学名誉教授）から、矢田市長あてに、「復興の総括・検証」の中間報告が提出されました。

中間報告は、区別ワークショップや一万人アンケート、約500名におよぶインタビューなどたくさんの幅広い市民のみなさんのご意見を反映するとともに、統計データなどの分析を加えてまとめられています。

市長への中間報告提出写真



ワークショップ風景



「復興の総括・検証」の中間報告 ご意見・ご提案募集集中！

まとまる！

中間報告の概要は、広報こうべ11月号に掲載しているほか、本編は神戸市ホームページ（<http://www.city.kobe.jp/>の「what's new」）でご覧いただけます。また、まちづくりセンターや各区役所のまちづくり推進課、神戸市総合インフォメーションセンターなどでも閲覧できます。

今後、みなさんのご意見・ご提案を踏まえて、最終報告をまとめ、来年の1月中旬に市長に提言いただく予定です。

そこで、みなさんのご意見・ご提案を11月17日まで募集しています。応募は、手紙・FAX・E-mailで受け付けておりますので、よろしくお願ひします。

「神戸の今」を4分野ごとに検証

今回の「復興の総括・検証」は、11年度に実施した総括・検証で明らかになった課題や、その後発生した新たな課題などを対象に進めています。

中間報告では、「市民生活」「都市活動」「すまい・まちづくり」「安全都市」の4分野ごとに状況把握と分析を行うとともに、各分野に対応する市民・事業者と行政との協働のあり方についても取り上げています。

さらに、全体的・分野横断的な検

復興の総仕上げと発信

総括・検証の結果は、16年度に行う復興の総仕上げに反映します。さらに、復興計画期間以降に残された中長期的課題の解決に道筋をつけ、復興の過程で生まれた新しい取り組みを、これからのまちづくりにつなげていきます。

また、今回の結果は、震災10年の17年に、さまざまな形で国内外に発信します。

神戸市企画調整局総合計画課 tel: 078-322-5057

宛先: 〒650-8570

fax: 078-322-6009

E-mail: sokei@office.city.kobe.jp

魅力は、出会いとまちの再発見

by 木山 典子 (まち・コミュニケーション・WS 隊)

まちづくりに関わってから約半年。たくさんの出来事がありました。

私の活動場所である長田区御蔵通では、修学旅行生の受入れや御蔵学校、まちづくり協議会、集会所建設と地域の方々とたくさん触れ合うことが出来ました。地域のなかに入って作業することは大変ですが、お互い意見を言い合ったり、助け合ったり、愛着を持つことがまちづくりには大切なんだなと感じました。

ワークショップ隊では、いろんな場所に行きいろんな人に出会いました。小学生との校区の探索、自分のまちの新発見、住民方とのまちの調査など、初めて出会う人たちとまちを歩いたり意見交換したりできたことは本当にいい勉強になりました。子ども達はとても元気がよく、自分の知っていることを必死で教えてくれました。自分の家族のこと、まちのこと、遊びなど真剣に伝えようとする姿は見ていて感心しました。子ども達の素直な気持ちや笑顔に出会えて楽しい思い出をつくることが出来ました。また、大人の方も真剣に自分たちのまちについて考える姿勢は熱かったです。数回のワークショップを通して、本では学ぶことのできない、コミュニケーションや協力、考える大切さなどを現場で感じて学ぶことが出来ました。半年という短い期間でしたが、たくさんの仲間と仲良くなり、一緒に勉強できてよかったです。本当にありがとうございました。

まちづくり会館からのお知らせ

こうべまちづくり会館 1階オープンギャラリーの展示

11月 4日(火)~20日(木)	日本で最も安全なすまいのまち “神戸”を目指して	都市計画総局 建築指導部違反対策室
11月21日(金) ~12月 9日(火)	第2回メロディブリッジ コンテスト優秀作品	建設局道路部計画課

こうべまちづくり会館 地階ギャラリーの予定

期 間	内 容・テ ー マ	主 催 者
11月10日(月)~24日(月)	まちづくり会館秋の企画展 震災復興写真展	こうべまちづくりセンター
11月27日(木)~12月2日(火)	R展 第13回展 (油彩水彩他)	森 治子

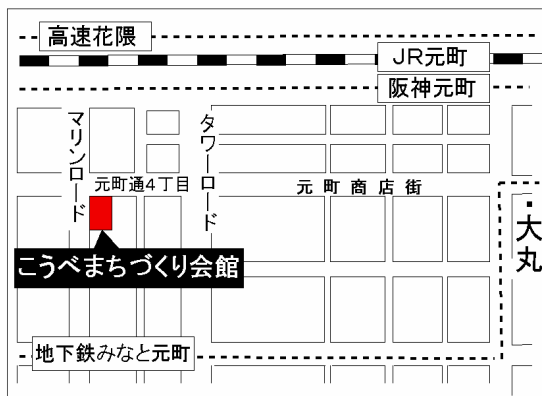
投稿のお願い

まちづくりセンターでは、「あーばんとーく」が読者の皆様のお役に少しでもたてるように、まちづくり協議会が行う地域でのイベントなどの行事案内やまちづくり協議会の活動の記事を募集しています。

誌面の許す限り最大限取り上げていきたいと考えています。

ご希望に応じて、取材にお伺いすることもできます。

まちづくりセンター(電話361-4523)までご一報ください。



最寄駅

- 地下鉄海岸線みなと元町駅西口から1分
- 高速花隈駅東口から3分
- 高速西元町駅東口から5分
- JR・阪神元町駅西口から8分